

ふんわりおいしいたまごやき

うさぎのぴよんは、さくらんぼようちえんにかようげんきなこです。

あさ、ぴよんはおかあさんがよういした、あさごはんのにんじんパンを

「いただきます。おいしいなあ。」

と、ムシャムシャパクパクおいしくたべました。

おとうさんは、

「いってきます。」

と、しごとにてかけます。

「おとうさん、いってらっしゃい。」

ぴよんは、おかあさんとみおくりました。

ぴよんはきょうもげんきに、おかあさんとだいすきなさくらんぼようちえんにやってきました。

「おはよう、ぴよんちゃん。」

「おはよう。」

ともだちのくまのぽんちゃんやりすのりっちゃんも、つぎつぎとやってきました。きょうもたのしいあそびがはじまりそうです。

ぴよんをおくったあと、おかあさんはいえであかちゃんにミルクをのませたりそうじをしたりします。

おかあさんは、いえのしごとがとてもたくさんあります。

「きょうもいそがしいわ。でも、みんなのためにがんばるわ。」

おかあさんは、いつもえがおではたらきます。

あるひ、たいへんなことがおこりました。

「あっ、いたい。」

「おかあさん、だいじょうぶ？ いたいの？」

ぴよんは、びっくりしていいました。

おかあさんがきりかぶでつまずき、ころんでけがをしてしまったのです。

おとうさんがしごとからかえってきて、すぐにもりのびょういんへいきました。けががなおるには、ひがかかります。

「みんなにめいわくかけるわね。」

おかあさんはつらそうにいいました。

おかあさんがにゅういんすることになったので、そのあいだおとうさんがいえのしごともすることになりました。

おとうさんが、ぴよんのおべんとうをつくります。でも、たまごやきがなかなかじょうずにできません。（おべんとうづくりってたいへんだな。）と、おとうさんはおもいました。

おとうさんがつくったたまごやきは、あじもかたちもおかあさんのとはちがいます。

でも、おとうさんのあたたかいきもちがっぱいつまっている、ふんわりおいしいたまごやきです。

ぴよんは、うれしくなりました。

「ぼく、じぶんでおべんとうをつつむよ。」

ぴよんは、食べるのをたのしみにしながら、わくわくしたきもちでおべんとうをつつみました。

「ぼく、ようちえんのようないもじぶんでするよ。」

ぴよんは、いままでおかあさんにてつだってもらっていた、タオルやコップのようないもじぶんでして、かばんにいれました。

ぴよんは、おとうさんがはたらくようすをみて、（いえのしごとっていっぱいあるんだな。じぶんでできることは、じぶんでしよう。おてつだいもしよう。）と、おもいました。

なににちかして、おかあさんのけががなおりました。

「おかあさん、けががなおってよかったね。あのね、おとうさんは、ふんわりおいしいたまごやきを、おべんとうのおかずにつくってくれたんだよ。ぼくもようちえんのようにをじぶんでしたんだよ。おてつだいもしたんだよ。」



ぴよんは、うれしそうにいました。

「おとうさん、ぴよんちゃん。ふたりともよくがんばってくれたね、ありがとう。おかあさんもうれしわ。」

「おとうさん、ふんわりおいしいたまごやき、これからもときどきつくってね。」

さんにんのわらいごえがいえじゅうにひろがりました。